

エコアクション21

環境経営レポート

(令和6年度版)

運用期間: 令和6年4月～令和7年3月

協 清 株 式 会 社

令和7年5月9日

目 次

	ページ
1. 環境経営方針	2
2. 組織の概要、対象組織・活動	3
3. 実施体制	4
4. 中期環境経営目標及び今年度目標と実績	5
5. 環境経営計画	7
6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
7. 環境関連法規などの遵守状況の確認結果、並びに違反、訴訟などの有無	9
8. 代表者による全体評価と見直し・指示	9

1. 環 境 経 営 方 針

基本理念

協清株式会社は、地域環境の改善を重要な課題と位置付け、収集運搬業の活動を通じて環境への負荷低減に積極的に取組、そして地球環境保全資源保護への貢献を目指します。

行動指針

環境経営システムを構築・運用し継続的な取組を進めるため、この行動指針に基づき、環境目標及び活動計画を定め、その為に以下の具体策を講じます。

- 1 二酸化炭素の排出を削減します。
- 2 廃棄物排出の削減に努めます。
- 3 水使用量の削減に努めます。
- 4 一般廃棄物の収集運搬における環境への配慮に努めます。
- 5 環境経営の継続的改善を誓約します。
- 6 関連する環境関連法規や条例等を遵守します。
- 7 地域社会と地域の環境保全に努めます。
- 8 この環境方針は研修や教育を行い従業員全員に周知します。

制定日：平成26年11月1日

改定日：令和6年4月1日

協清株式会社

代表取締役 田中 真樹

2. 組織の概要、対象組織・活動

◆組織の概要

(1) 名称及代表者名

設立年月日 1966年 8月 8日
協清株式会社 代表取締役 田中 真樹

資本金	1050万円
売上高	2億4120万円/年(令和6年度)
従業員数	34名
延べ床面積	46m2(本社) 816m2(車庫)

(2) 所在地

本社 福岡県北九州市若松区深町1丁目7番72号
車庫 福岡県北九州市若松区北湊町9番68号

(3) 環境管理責任者連絡先

環境管理責任者 取締役 田中 真樹 TEL 093-771-2141

(4) 事業活動内容

一般廃棄物収集運搬業
産業廃棄物収集運搬業

(5) 一般廃棄物収集運搬業

許可番号 北九一廃 第 024 号
事業の範囲 A類(ふん尿を除く一般廃棄物)
許可期間 令和 6年 4月 1日 から
令和 8年 3月 31日 まで

産業廃棄物収集運搬業

許可番号 第 04000119202 号
事業の範囲 燃え殻、汚泥、廃油、廃アルカリ、紙くず、
廃プラスチック、木くず、繊維くず、
動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、
金属くず、ガラスくず、鋳さい、がれき類、
家畜ふん尿、家畜の死体、ダスト類、
以上19種類 積替え保管場所なし
許可期間 令和 2年 7月 7日 から
令和 7年 7月 6日 まで

(6) 事業規模

運搬量 17,169.9t/年 (6.7t産業廃棄物収集運搬量を含む)

塵芥車	17台
無蓋ダンプ	5台
トラック	1台

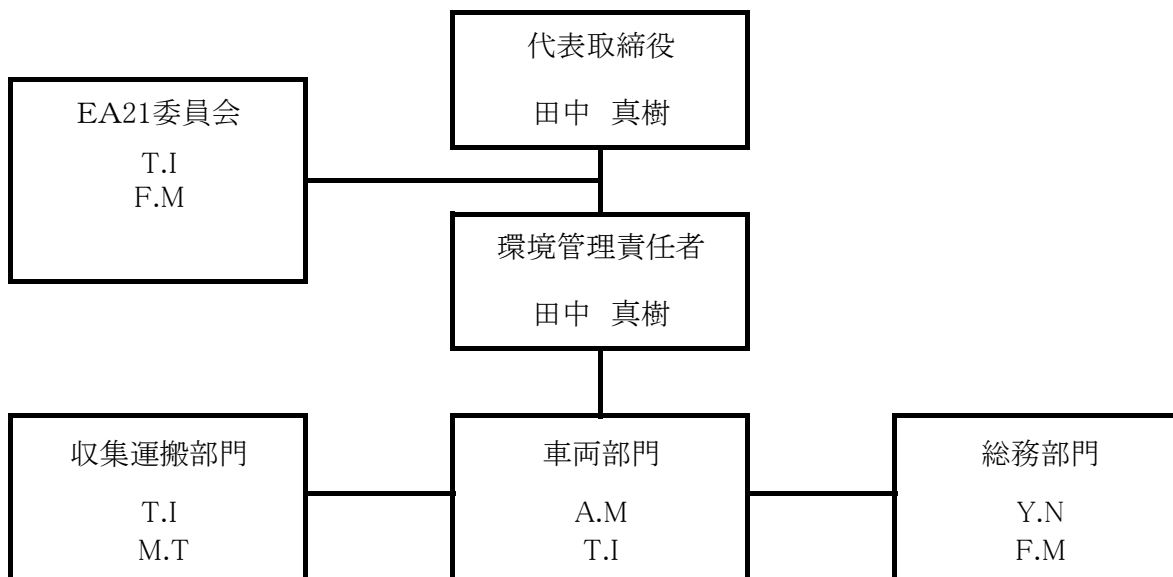
(7) 事業年度

4月～3月

(8) 対象範囲

全組織・全活動

3. 実 施 体 制



役割分担表

氏名	所属(役職)	役割・責任・権限・使命
田中真樹	代表者 (代表取締役)	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組みを実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
田中真樹	環境管理責任者 (代表取締役)	全体の把握/環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する
EA21委員会		3ヶ月に1回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の 実行状況を審議する
T.I	収集運搬部門	収集運搬部門におけるEA21の遂行を統括する
S.M	車両部門	車両部門におけるEA21の遂行を統括する
Y.N F.M	総務部門	環境管理責任者に必要な情報を提供するとともに、決定事項等を 社内に周知し、EA21を着実に実施する

4. 中期環境経営目標及び今年度目標と実績

(1) 中期環境目標(令和6年度～令和9年度)

環境目標	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		基準年度	目標	目標	目標	目標
1.二酸化炭素排出量の削減効果	kg-CO ₂	260,812	259,508 (0.5%減)	258,203 (1%減)	256,899 (1.5%減)	255,595 (2%減)
電力使用量(事務所)	kWh	3,798	3,779 (0.5%減)	3,760 (1%減)	3,741 (1.5%減)	3,722 (2%減)
電力使用量(車庫)	kWh	6,611	6,578 (0.5%減)	6,545 (1%減)	6,512 (1.5%減)	6,479 (2%減)
軽油使用量の削減	ℓ	91,942	91,482 (0.5%減)	91,022 (1%減)	90,563 (1.5%減)	90,103 (2%減)
ガソリン使用量の削減	ℓ	7,780	7,742 (0.5%減)	7,703 (1%減)	7,664 (1.5%減)	7,625 (2%減)
灯油使用料	ℓ	294	293 (0.5%減)	291 (1%減)	290 (1.5%減)	288 (2%減)
2.紙使用量の削減	枚	3,500	3,500 (維持)	3,500 (維持)	3,500 (維持)	3,500 (維持)
3.水使用量の削減	m ³	516	513 (0.5%減)	511 (1%減)	508 (1.5%減)	506 (2%減)
4事業系一般廃棄物 契約事業者数	件	545	545 (維持)	545 (維持)	545 (維持)	545 (維持)
5.会社周辺 清掃活動実施	回/年	2	2	2	2	2

※ 購入電力の二酸化炭素実排出係数は、九州電力平成29年度の0.463(kg-CO₂/kWh)を用いた。

※ 化学物質の使用は無い。

※ 事務用品の購入量も極少ないので目標は掲げず、車、事務用品などを購入する都度グリーン購入に配慮します。

(2)環境経営目標と実績

環境目標	単位	令和5年度	令和6年度		
		基準年度	目標	実績 (判定)	達成率 (%)
1.二酸化炭素排出量 の削減効果	kg-CO ₂	260,812	259,508 (0.5%減)	253,086 (○)	102.5%
電力使用量(事務所)	kWh	3,798	3,779 (0.5%減)	4,325 (△)	87.4%
電力使用量(車庫)	kWh	6,611	6,578 (0.5%減)	7,998 (△)	82.2%
軽油使用量の削減	ℓ	91,942	91,482 (0.5%減)	88,031 (○)	103.9%
ガソリン使用量 の削減	ℓ	7,780	7,742 (0.5%減)	8,412 (△)	92.0%
灯油使用量	ℓ	294	293 (0.5%減)	299 (△)	97.8%
2.紙使用量の削減	枚	3,500	3,500 (維持)	3,500 (○)	100.0%
3.水使用量 の削減	m ³	516	513 (0.5%減)	476 (○)	107.9%
4事業系一般廃棄物 契約事業者数の増加	件	545	545 (維持)	545 (○)	100.0%
3.会社周辺 清掃活動実施	回/年	2	2	2 (○)	100.0%

- ※ 評価と目標達成表示:○は、100%以上、△は、80%以上から100%未満、×は、80%未満
 ※ 購入電力の二酸化炭素実排出係数は、九州電力平成29年度の0.463(kg-CO₂/kWh)を用いた。
 ※ 化学物質の使用は無い。
 ※ 事務要用品の購入量も極少ないので目標は掲げず、車、事務用品などを購入する都度グリーン購入に配慮します。

5. 環境経営計画

1. 二酸化炭素総排出量の削減

取組目標		活動項目	
1	電気使用量の削減	1	エアコン設定温度を決め、実行する
		2	長時間席を離れる時、照明やエアコンを電源をOFF
		3	不要電気消費抑制
2	燃料使用量の削減	1	アイドリングストップ実施
		2	急発進、急ブレーキの抑制
		3	タイヤの空気圧チェック
		4	事前ミーティングによる走行ルート効率化
		5	日常点検、定期点検の実施
		6	各車両の走行距離、使用燃料の管理
3	収集運搬に伴う 環境負荷の低減	1	収集運搬車両の購入の際、排ガスレベル、燃費、リサイクル素材の使用等を考慮して検討する
		2	最新の排ガス、騒音規制に適合した車両への代替を進める

2. 廃棄物総排出量の削減

取組目標		活動項目	
1	紙使用量の削減	1	パソコンから不要打出し制限
		2	裏紙の活用

3. 水使用量の削減

取組目的		活動計画	
1	節水活動の実施	1	手洗い時の流しっぱなし禁止、流水調整
		2	洗車時、洗濯時の流しっぱなし禁止

4. 事業系一般廃棄物契約事業数の増加

取組目的		活動計画	
1	新規進出事業所の獲得	1	既存契約者からの推薦及び紹介を増やす。

5. 地域貢献活動の推進

取組目的		活動計画	
1	地域の清掃活動実施 2回/年実施	1	地域公園、道路等の清掃及び除草
		2	車庫周辺の海の清掃

6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、次年度の取組内容

1) 環境活動計画の取組結果とその評価

【二酸化炭素排出量の削減】

【二酸化炭素排出量の削減】： 達成

- ・二酸化炭素排出量の削減は、目標を未達できた。
廃棄物の運搬先が近くなり、軽油の使用量が減少したことによる影響が大きい。
- ・二酸化炭素排出量に占める割合は、電気使用量2.3%、ガソリン使用量7.4%、軽油89.7%、灯油0.3%である。

【電気使用量の削減】： 事務所(未達)、車庫(未達)

- ・事務所及び車庫とも増加した。
冷暖房の使用増の影響による。
- ・前年度同様に節電を心掛ける。
- ・冷暖房に留意してこまめに節電に努める。
- ・次年度は、更に無駄を探して削減をする。

【燃料の使用量の削減】： 軽油(達成)、ガソリン(未達成)

- ・軽油使用量は目標を達成し、ガソリン使用量は未達となった。
- ・廃棄物の運搬先が近くなり、軽油の使用量が減少した。
- ・ガソリン使用量は、僅かに目標未達となった。
- ・今後も軽油、ガソリンに留意して使用量削減に努める。

【紙使用量の削減】

- ・裏紙を使ったり、電子化を心がけるようにしている。

【水の使用量の削減】： 達成

- ・洗車時の水の使い方をそれぞれが気を付けて無駄の無いように心がける。

【事業系一般廃棄物契約事業者数】

- ・既存排出事業者の廃業による減少がある一方、同業収集運搬者が廃業して契約事業所を引き継いでおり、バランスしている。
- ・これからも丁寧な作業を継続する。

【会社周辺活動実施】

- ・数年前から実施している活動を次年度も実施す

2) 次年度の取組内容

- ・次年度は、中期環境経営目標及び今年度の環境活動計画に沿って活動する。

7. 環境関連法規などの遵守状況の確認結果、並びに違反などの有無

環境関連法規等（廃掃法・フロン排出抑制法）の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も創業以来ありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

環境活動の取組みは、社員一同の努力によって、意識付けは出来てきた。

市民の目も厳しく、対応及びスピード等、毎朝、朝礼時に再確認をしている。

省エネ運転等の取組重視で活動し、パッカー車等を購入する際はエコ配慮する。

エコアクション21への取組みを通じて社員への環境活動への理解や周知も進み、環境負荷低減活動を更に推進していきたい。

尚、業務の活動指針として次のことに留意して進めていきたい。

- ・健康であること
- ・事故を起こさないこと
- ・丁寧な作業を心掛けること
- ・安全運転を最優先に心掛けること